

財光寺小学校「よのなか教室」 平成27年7月1日（水）

講師 小谷 実さん【宮崎日日新聞社日向支局 支局長】

第5学年国語科学習指導計画

平成27年7月1日

指導者 森崎 陽介

1 単元名 書き手の意図を考えながら新聞を読もう「新聞記事を読み比べよう」

2 目標

- 新聞記事の書き手の意図を進んで読み取ろうとしている。（関心・意欲・態度）
- 新聞記事を読み比べ、見出しの効果や工夫を読み取ることができる。（読むこと）
- 新聞記事を読み比べ、表現の工夫に気付くことができる。（伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項）
- 自分の役割にこだわりをもって仕事に取り組むことのかっこよさに気付くことができる。（キャリア教育）

3 指導計画（全6時間）

主な学習内容及び学習活動	時間	評価計画（・国語科 ☆キャリア教育）	外部人材活用の方法
（事前学習）			
○ 教師や児童による興味のある新聞記事の紹介を行う。			
1 学習の見通しを立てる。 ・ 最近関心のあった記事や新聞についての知識を交流する。 ・ 学習課題や学習の流れについて確認する。	1時間	・ 新聞記事について関心を持ち、進んで書き手の意図を読み取ろうとしている。（関心・意欲・態度） ・ 新聞の特徴や役割について考えを発表している。（関心・意欲・態度）	
2 新聞記事の構成や写真の役割について理解する。	1時間（本時）	・ 新聞記事の構成や写真の役割などを読み取っている。（読むこと） ☆ こだわりをもって仕事に取り組むことのかっこよさに気付くことができる。（創る力） （グローバルグローバルと郷土愛）	○ 新聞記事の構成について、専門的な立場から解説していただく。 ○ 仕事への思い ・ 役割分担と責任、協力する大切さ ・ 意図を伝える難しさやみんなに伝わる喜び
3 二つの新聞記事を読み比べ、共通点や相違点をとらえてノートに整理したり、写真の効果を考えたりする。	2時間	・ 二つの記事を読み比べ、写真や見出しに気をつけて、それぞれの記事の内容やねらいの違いを読み取っている。（読むこと） ・ 新聞記事を読み、記事の中の表現の工夫について気付いている。（言語事項）	
4 内容や写真に合った見出しを書き、それぞれの良さや工夫を考える。 5 学習を振り返る。	2時間	・ 新聞記事の内容を見出し、写真との関係を読み取っている。（読むこと） ・ 新聞記事を読み比べてとらえた書き手の意図が記事の特徴に表れていることを確かめている。（読むこと）	

4 本時の目標

- 新聞記事の構成や書き手の意図との関係を理解することができる。（読むこと）
- 自分の役割にこだわりをもって仕事に取り組むことのかっこよさに気付くことができる。（キャリア教育）

5 学習指導過程

段階 (時間)	学習内容及び学習活動	指導上の留意点 ☆ キャリア教育		評価【評価方法】 ・ 国語科 ☆ キャリア教育	資料 準備
		指導者	外部人材		
導入 (8分)	<p>1 学習に見通しをもつ。 ○ 前時の振り返りを行い、今日の学習の流れについて確認する。</p> <p>2 本時のめあてをつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 新聞記事の構成にはどんな特徴があるか考えよう。 </div> </p>	<p>○ 外部人材の紹介をする</p> <p>○ 単元学習計画をもとに前時の内容と本時の流れを確認させる。</p>	<p>○ 簡単に自己紹介する。</p>		単元学習計画
展開 (27分)	<p>3 新聞記事の構成について整理する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 見出し ・ リード ・ 本文 ・ 写真・キャプション </div> <p>○ グループで話合う。 ○ 説明を聞き、ノートに整理する。</p>	<p>○ 児童に配付する新聞記事は構成ごとに区切ることで、それぞれにどのような意味があるか話合わせる。</p> <p>○ 説明と教科書をもとに構成を箇条書きで整理させる。</p>	<p>○ 準備した資料をもとに構成の説明をしてもらう。</p>	<p>・ 新聞記事の構成や書き手の意図との関係を理解することができる。 【ワークシート】</p> 	新聞記事
	<p>4 新聞の記事の構成と書き手の意図の関係について知る。</p>		<p>○ 資料をもとに構成には書き手の意図が込められていることを説明してもらう。</p>		
	<p>5 こだわりをもって仕事に取り組むことのかっこよさを知る。</p>		<p>☆ 読み手に伝えたい意図を伝える難しさや、みんなに伝わる喜びなどについて話してもらう。</p>		
終末 (10分)	<p>6 本時の学習を振り返る。</p> <p>7 次時の学習内容を確認する。</p>	<p>○ 今日の学習の感想を発表させる。</p> <p>○ 2枚の新聞記事を提示することで次時への意欲付けを行う。</p>	<p>○ 児童の感想を聞いて感じたことを話してもらう。</p>	 <p>☆ 自分の役割にこだわりをもって仕事に取り組むことのかっこよさに気付くことができる。 (創る力・グローバルローバルと郷土愛) 【発言】 【ワークシート】</p>	

6 板書計画

書き手の意図を伝えるために
とても大切!

文月一日

新聞記事を読み比べよう

新聞記事の構成にはどんな特徴があるか考えよう。

① 見出し

② リード

③ 本文

④ 写真・キャプション

① 見出し

② リード

③ 本文

④ 写真・キャプション

7 参考資料

門川高今年は… 秋もホテルを

門川町・門川高（川越寛校長、463人）敷地内のビオトープで、今年もホテルが舞い始めた。完全飼育を研究しているネーチャーサイエンス系列ホテルプロジェクト班（3年生9人）の取り組み。「ホテルの舞う学校にしたい」という生徒の思いから始まったプロジェクトも10年目を迎え、新たに「一年中ホテルが舞う学校」をテーマにした実践にも挑戦している。

飼育研究10年目

「初年度が思いのほか大変で、舞い始めたのは2年目。3年目からは、生徒の思いがけず、ホテルの舞う学校にしたいという生徒の思いから始まったプロジェクトも10年目を迎え、新たに「一年中ホテルが舞う学校」をテーマにした実践にも挑戦している。

門川高校中庭のビオトープで舞うホテル

マンゴー食べてにっこり

「5月25日」記念日に

県産マンゴー農産物の消費拡大を図るため、県産マンゴー産地から出荷のピークを迎える県産完熟マンゴー

消費拡大イベント開催

5月中旬から出荷のピークを迎える県産完熟マンゴー

県産マンゴー産地から出荷のピークを迎える県産完熟マンゴー

宮崎日日新聞の小谷さんのお話を聞いた感想

5年2組 ()

小谷さんの仕事のことや考え方を聞いて、「すごいな!」「カッコいいな!」と思ったところや、自分も生かしていきたいなと思ったことなどを、くわしく書こう。



小谷さんのお話を聞いて、すごいなと思ったことは、自分たちで記事を書いていることです。わたしも、学級新聞で記事のたんとうだけど、はじめは、何を書けばいいんだろうと分からなくな、てしまいます。それなのに、小谷さんたちは、あんなに長い記事を書いていることは、すごい力をもっているんだと、すごくかんしんしました。小谷さんが書いた記事を読んで、分かりやすいなと思いました。それに地域の方たちの思いを、しかりとうけとめて、新聞で、いろいろな人たちに、伝えようとしている気持ちがとても伝わ、てきて、新聞記者というお仕事は、すごくかっこいいなと思いました。これからも、小谷さん自身の思いを新聞にのせて、いろいろな人たちに、伝えたいです。

宮崎日日新聞の小谷さんのお話を聞いた感想

5年2組 ()

小谷さんの仕事のことや考え方を聞いて、「すごいな!」「カッコいいな!」と思ったところや、自分も生かしていきたいなと思ったことなどを、くわしく書こう。



わたしは小谷さんの話を聞いて、1番すごいなと思ったところは、マンゴーの記事を書いたことです。それは小谷さんがマンゴーを作っている人の気持ちになって、もっとみんなに食べてほしいなぬという思いでかいていたからです。ただ、みんなに出来事を伝えるだけじゃなくて、マンゴーを作っている人の努力と向き合っているところが読む人が読みたくなる記事になるんじゃないかなぬと思いました。わたしも、小谷さんのようにどんな事にも向き合、て、どんな事でも、い、し、ょう、けん、めい、に、で、き、る、よ、う、に、な、り、ま、す。特、別、な、体、験、や、話、を、さ、せ、て、も、ら、っ、て、あ、り、が、た、う、ご、ざ、い、ま、し、た。

○ 研究協議会
1 課題と改善策

課題	改善策
(1) 事前打ち合わせ ○ いつとるのか。どれくらい必要か。 ○ 単元の中で外部講師を招くタイミング ○ 教師と外部人材の言葉の整合性 <ul style="list-style-type: none"> ・ 見出し～外部人材「記事の入口」 教師「記事の中心」 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外部人材との打ち合わせの中で使う言葉の確認をしておく。
(2) 授業 ① 授業の組み立て ○ めあてが児童には難しかった。 ○ 時間配分 <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童のレベルにどれくらい寄り添うか。 ・ 「見出し」「リード」「本文」「写真・キャプション」の4つの観点に一度に迫るのは難しい ② 児童に配付する資料 ○ 4～6人に作業シート1枚は見にくかった。 ○ 短時間であれだけのことを読み取るのは難しい。 ③ 社会観・職業観への気付き ○ 外部人材を呼び込み ○ 外部人材の思いを発信する場面が弱かった。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ めあての工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「構成を考えよう」より「構成のひみつを見つけよう」のほうがいいのでは ・ キャリア教育の視点を含んだ目標の立て方 ○ 話のポイントを短冊等であらかじめ用意しておいて示す。 ○ 「リード」と「本文」に焦点をあて、違いを考えさせる。 ☆ 資料を効果的に使ったり、キャリア教育からの気付きを促したりするために <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元全体のどこで外部人材を活用するか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導計画の5・6時に呼び、児童の考えた見出しとプロの考えた見出しの比較を行う。 ○ 教科の目標を達成しつつ、外部人材の思いも語ってもらうためには1単位時間の授業をどのように展開すればよいか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ キャリア：教科＝2：8程度でいいのでは。 ・ 「生の声を大切に」 教科書の内容は前時にふれておいて、本時に外部人材の方に説明・補足してもらうと効果的ではないか。 ・ 外部人材の登場場面は、本時なら見出しを考える活動場で、児童の考えた見出しを評価してもらうのもよいのでは。 ・ 外部人材の一番伝えたいところ、担当が伝えてほしいところをもう少し焦点化するといいのでは。 ○ っこよさ <ul style="list-style-type: none"> ・ 「この記事を書いたのはわたしです。」で気付くのでは。
(3) その他 ① 話合いの進め方 ○ 自分の考えをもつ時間がなかった。 ② ワークシートと板書の関係・活用 ③ ICT 機器の活用	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「個」から「グループ」の話合いの流れ ○ 資料は時間確保のために、事前に提示しておいてもいいのでは？ ○ 資料の精選 ○ 児童の考えも板書に残す。 ○ 拡大用紙で見にくいもの(写真等)を映し出してもよい。

2 授業者の気付きや学び

教科のねらいを達成するための授業を軸として、どのようにキャリア教育のねらいを取り入れていくかがとても難しかった。しかし、小谷さんに専門的な立場から話をしていただき、また、専門性ならではのこだわりや苦労、喜びを児童は生の声で聞くことができ、両方のねらいに迫ることができた。次の日の児童は学級にある新聞を手に取り、見出しやリードを読んでいる児童が多く見られた。この姿から改めて授業の達成感を感じることができた。

児童はこの学習を通して、新聞に興味をもち、小谷さんに質問したいことがたくさん出てきているようだ。事後指導での活用も検討していきたい。